

第1回～第3回 女性懇談会進捗状況（阿木地区）

回数	地区	分類	質問・要望	実施事項・今後の計画
第2回	阿木	教育・文教施設	阿木小学校のリニューアルはどうなっているのか。	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度に阿木小学校の耐震補強計画及び実施設計を完了しました。 平成20年6月に度々大規模改修工事に着工し、10月末に完成しました。
第2回	阿木	市民サービス	阿木コミュニティセンターは行事のときなど駐車場に不自由するため駐車場を充実してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査及び法令等に基づく規制等の確認を行い、候補地の検討および地元関係者との調整を行いました。 平成20年7月下旬に測量設計を契約しました。 平成20年3月末までに地権者と用地売買契約を締結する予定です。
第2回	阿木	地域交通	自動車免許のない高齢者の通院や買い物のための交通手段を確保してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年12月に阿木地区で試験運行を開始しました。 試験運行と並行して、その状況を検証しながら、地域に合った本格運行の方法を検討していきます。 阿木地区においては地域に定着した感があり、細かい手直しを行いながら固定化したいと考えています。
第2回	阿木	防災	防災行政無線（屋外スピーカー）が聞き取りにくい。不審者情報も聞き取れれば親や周りの大人もすぐ動けるので、改善してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線は現状維持で運用します。 防災行政無線の補完として、市民安全情報ネットワーク、光ファイバー網敷設による通信環境整備など、情報を多元的に提供していきます。
第3回	阿木	教育・文教施設	南小学校の体育館がきれいになった。阿木小学校体育館は耐震も必要だが建替えをお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強により強度は充分保たれ、併せて改修工事を行うことで施設の充実に図ることができるため、建替えではなく大規模改修工事に対応します。
第3回	阿木	教育・文教施設	学校の遊具について、ワイヤーや支柱が残っている。つまづいたりして危険なので、撤去してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 遊具について危険なものは平成19年度に撤去しました。
第3回	阿木	教育・文教施設	阿木小学校のグラウンドのネットが破れており、出入りが自由である。ボールを追いかけて子どもが飛び出す点からも、ネットの張替えをお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年6月にネットの補修を行いました。
第3回	阿木	その他	コミュニティセンターの建て替えは可能なのか。	<ul style="list-style-type: none"> 今後、地元とコミュニティセンター駐車場整備を含めた協議を行い、優先順位や緊急度から市全体の計画の中に位置付けを行っていきます。

回数	地区	分類	質問・要望	実施事項・今後の計画
第3回	阿木	情報通信	有線放送がなくなり、地域の情報(訃報等)を聞く事ができなくなった。お年寄りのためにも、「聞ける」情報が欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・光ファイバーによるネットワーク整備後の行政システム(病院、福祉、消防、防災等)の合理化、利便性の向上に向け庁内担当者による検討会を実施しています。 ・検討会で有線放送が担っていた役割について公共面での必要性を踏まえながら検討していきます。 ・訃報等の地域情報については、民間からの提供の可能性を含め検討し、平成20年12月までに方向性を決定します。
第3回	阿木	地域振興	<ul style="list-style-type: none"> ・若者は岩村まで行ってアパートに入っているの、市営住宅の様なものができないか。 ・市営住宅の建設についてアパート形式を考えているのか。出来れば一戸建てで永住できるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度にU・Iターン用住宅整備計画(案)を策定し、平成19年度に地元区長会に建設予定地の説明および意見交換、建設予定地の用地測量を行いました。 ・阿木地区については平成20年度に敷地造成設計を委託する予定です。
第3回	阿木	福祉・医療	娘がいつか出産すると思うが、実家に帰って産めないということはとても不安である。親のもとで産める体制作りをお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・中津川市民病院において平成19年6月18日から常勤産科医が2名から3名に増員となり、当直体制がとれるようになりましたが、里帰り出産制限を解除するには至っていません。 ・産科医師・助産師確保のために今後も国・県・医局へ働きかける等の努力を続けます。